

教科名	家庭	科目名	保育基礎	学年	3年	単位数	2
準教科書			副教材	生活学 Navi 資料+成分表 2022 (実教出版)			

1 担当者からのメッセージ

この科目は、保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付けるとともに、子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深め、地域の保育や子育て支援に寄与できる資質・能力を育成することをねらいとしています。

2 学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3 学習計画

		単元名 (学習項目)	学習内容 (ねらい)
前期	前期 中間	・子供の保育	・子供の健やかな発達を促すための保育の必要性と意義、保育の目標に応じた基本的な保育の方法や保育の環境について理解する。
	前期 期末	・子供の発達	・子供の発達の特性や過程を体系的・系統的に理解する。 ・心身の発達に応じた基礎的な保育の技術を身に付け、乳幼児期の子供の健全な心身の発達について考える。
後期	後期 中間	・子供の生活と養護 ・子供の福祉	・池田こども園における保育実習 ・子供の生活と養護について体系的に理解する。 ・調乳・おむつ交換・沐浴・検温 ・保育を行う上で重要な子供の福祉の理念や制度、子供の福祉を支える様々な施設の役割について理解する。 ・社会に求められる保育について考える。
	学年末	・子供の文化	・子供の文化、遊びと表現活動について理解する。 ・子供の健やかな発達を促すために必要な保育の技術を身に付け、手作り絵本製作を行う。

4 観点別評価

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
保育の意義や方法、子供の発達と生活の特徴、子供の福祉や文化について理解し、関連する技術を身に付ける。	子供一人一人の発達に適した保育環境を整えることの重要性について思考を深める。	地域の保育や子育て支援に寄与できる。

5 評価方法

計70時間(50分授業)

出席状況、授業態度、定期考査、提出物(学習プリント・課題・作品)

知識・技能…35% 思考・判断・表現…35% 主体的に学習に取り組む態度…30%